

単  
元  
名

～算数の学習をしあげよう～

## 単位の歴史を紐解こう

教科書出版社名 ( 東京書籍 )

○ 小学校 ( 6 ) 年 教科等 ( 算数 )

○ 「自ら学ぶ子どもの育成」に向けて、この単元で付けたい力

(教科等でつけたい力)

6年間の算数の学習を振り返りながら、数量や図形などについての基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得し、これらを活用して問題を解決するために必要な数学的な思考力、判断力、表現力。

・数学のよさに気づき、算数と日常生活との関連についての理解を深め、算数を主体的に生活や学習に生かそうとしたり、問題解決の過程や結果を評価・改善しようとするなど、数学的に考える資質・能力。

(学校図書館等の活用でつけたい力)

目的に応じて、文章や複数の資料から信頼性の高い情報を見つけ出し、根拠をもって自らの考えを記述する力。

○ この単元における学校図書館を活用した情報活用能力の育成に向けて

- 情報収集…単位の歴史について本や図鑑などで調べ、必要な情報を集める。
- 整理・分析…単位について気づいたことなど、調べたことをカードに書き、自分の考えを整理する。
- まとめ・表現・発信…単位の歴史を調べて発見したことを他の児童にわかりやすく伝えられるよう、表現を工夫して発表する。

学習の展開 (全 25 時間) (学校図書館等を活用した時間は☆印)

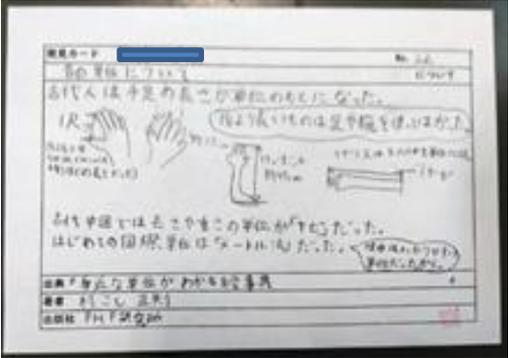
第1次 12時間	・算数の学習のしあげとして、(数と計算・図形)から取り組む。 数の表し方と仕組みの理解の深化。加減計算の習熟・定着 乗除計算の習熟・定着 数の性質や処理の理解の深化と数学的な見方・考え方の振り返り
第2次 2時間 ☆	・量の比べ方と単位の理解の深化と数学的な見方・考え方の振り返り ・測定の学習として、「単位の歴史」を調べる。(本時) 「m」「kg」「L」「里」「石」などについて図書資料で調べ、「発見カード」の形式でまとめ発表する。
第3次 11時間	・変化と関係(変わり方と比例・反比例の理解の深化・速さ・単位量当たりのおおきさ・割合の理解の変化と数学的な見方・考え方の振り返り) ・データの活用に関する理解の深化と数学的な見方・考え方の振り返り ・考える方法や数学的表現(筋道を立てて考える方法や振り返り)

(本時 13 / 25 時)

☆学校図書館等活用(本時)の学習

本時のねらい  
数の単位に興味をもち、算数に関する興味を広げる。

学習展開

時間(分)	主な学習活動	指導上の留意点
2	<p><b>1. 学習してきた単位を振り返る。</b></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>単位の歴史について調べよう。</p> </div>	<p>・キーワードを伝えながら知っている単位をなるべく思い出させるようにする。</p>
15	<p><b>2. 単位 (m・kg・L・里・石など) をその歴史から調べる。</b></p> 	<p>単位に関連する図鑑や本をできるだけ多く集め準備する。</p>
25	<p><b>3. 調べたことを各自で発見カードに書いて発表 (ペア→グループ→代表が全体で) する。</b></p> <p>調べて気づいた事、発見した事や伝えたい事などを、伝わりやすいように工夫することも大切であることも理解する。</p> 	<p>・自分が調べて気づいた事や発見した事などを中心に伝えたいことを明確にして、発見カードにまとめるよう声かけをする。</p> <p>・他の児童の発見したことを聞いて、歴史の深みや単位の面白さに気づかせる。</p>
3	<p><b>4. 発表したことや、周りの発表を聞いて、自分の発見カードについて振り返る。</b></p>	

図書館活用ポイント